

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立科学館	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月20日
指定管理者	公益財団法人山梨県青少年協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例		
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:1,194㎡ ○建築延面積:6,497.61㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨・一部木造)、地下1階、地上3階 ○施設の内容 展示室・多目的ホール・あそびの部屋 2, 568㎡ スペースシアター 693㎡ (定員180席) 実験・工作室 328㎡ 天体観測室・展望テラス・サイエンスショーブース・エントランス等 2,909㎡		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務 科学に関する展示及び講演会、催し等の実施に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	入館者	166,119	148,184	170,969	
	うちスペースシアター観覧者	47,521	38,747	54,524	
	うち主催事業参加者	122,525	141,040	208,498	
	うち学習利用者	16,340	16,653	14,493	
	利用者数合計	166,119	148,184	170,969	
	目標値	162,000	170,000	170,000	170,000
	目標値設定の考え方及びその理由	平成24年度実績値(過去最多)を参考に、さらなる増加を目指し設定			
対25年度比	-	89.2%	102.9%	102.3%	
利用率	551人/日	478人/日	561人/日	559人/日	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	37,542,057	51,971,000	44,768,502	51,966,000
	指定管理者委託料	328,648,000	327,657,000	327,657,000	332,127,000
	その他	12,685,159	12,728,000	10,551,402	12,069,000
	収入合計(A)	378,875,216	392,356,000	382,976,904	396,162,000
支出	人件費	133,227,462	139,197,000	136,733,674	142,831,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	243,838,208	253,159,000	242,274,768	253,331,000
	うち外部委託費(B)	102,410,800	88,480,000	91,048,217	89,106,000
支出合計(C)	377,065,670	392,356,000	379,008,442	396,162,000	
収支差額(A-C)	1,809,546	0	3,968,462	0	
外部委託比率(B÷C)	27.2%	22.6%	24.0%	22.5%	
利用者一人当たりの経費	2,217.8	1,927.4	1,916.5	1,953.7	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年7月(中旬)～平成28年3月 実施方法:来館者へのアンケート 回答数:2,665人
-------	---

単位:%

調査項目		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	
一般利用者	館内全体のサービスの項目別	スタッフの対応	67.94%	30.87%	0.99%	0.20%
		館内の設備	68.20%	29.28%	2.43%	0.10%
		館内の案内表示	61.56%	35.19%	3.04%	0.20%
		館内の清潔さ	72.35%	26.70%	0.85%	0.10%
		利用料金	60.26%	34.83%	4.38%	0.53%
		レストランの味	37.46%	44.91%	14.69%	2.94%
		レストランの接客	48.32%	43.69%	7.27%	0.72%
		駐車場の案内対応	46.92%	40.76%	10.37%	1.95%
	館内設備・プログラム別	展示室	60.03%	38.86%	1.00%	0.11%
		スペースシアター	65.31%	32.84%	1.68%	0.17%
		実験室	67.00%	30.63%	1.90%	0.47%
		工作室	66.67%	30.23%	2.58%	0.52%
		あそびの部屋	64.88%	32.38%	2.30%	0.45%
		サイエンスショー	71.01%	26.41%	2.59%	0.00%
		天体観測室	56.79%	39.47%	1.76%	1.98%

団体利用者	館内全体のサービスの項目別	スタッフの対応	85.42%	13.72%	0.85%	0.00%
		館内の設備	84.25%	15.12%	0.63%	0.00%
		館内の案内表示	83.63%	15.12%	1.26%	0.00%
		館内の清潔さ	88.88%	11.12%	0.00%	0.00%
		昼食スペース	82.48%	15.67%	1.85%	0.00%
		利用料金	97.16%	2.84%	0.00%	0.00%
		予約	78.41%	11.22%	3.70%	6.67%
		下見打合せ等	74.76%	22.81%	2.43%	0.00%
	館内設備・プログラム別	展示室	74.22%	25.78%	0.00%	0.00%
		スペースシアター	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
		実験室	89.26%	10.74%	0.00%	0.00%
		工作室	97.78%	2.22%	0.00%	0.00%
		あそびの部屋	97.92%	2.08%	0.00%	0.00%
		サイエンスショー	97.70%	2.30%	0.00%	0.00%
		天体観測室	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
施設全般の満足度		54.24%	38.02%	7.74%	0.00%	

利用者の意見	<p>1. レストランのメニューを増やして欲しい。</p> <p>2. 臨時駐車場からのシャトルバスがもう少し大きともっとスムーズに入館できて良かったと思う。</p> <p>3. 科学的知識を使って子どもを飽きさせない工夫があつてよかった。</p> <p>4. サイエンスショーが面白かった。</p>
利用者の意見への対応	<p>1. メニューについては、春や夏の特別企画展開催期間にコラボ企画として新たなメニューの開発・提供を行い増加に努めた。今後、業者とさらなる検討を進め、満足度向上を図る。</p> <p>2. 大型バスの場合、発着場所のスペースをより広く確保する必要があり、導入は難しくなっている。待ち時間が長くなるように、必要に応じて台数を増やし対応していく。</p> <p>3. 今後も科学に興味・関心を深めるメニューの開発及び実施に努めていく。</p> <p>4. 今後も新しいショーの制作や、現在行っているショーを改良するなど、楽しく良質なショーの実施に努める。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書に基づき適正に執行されている。
運営業務	業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書に基づき適正に執行されている。
利用状況	年間を通じて、多くの主催事業を創意工夫し、実施したことや広報の充実強化を図ったことにより、入館者数目標値170,000人を達成することができた。しかし、学習利用については目標達成できなかったことから、学校等への意向調査等により要因分析を行い、これを踏まえ利用促進を図っていく。	バラエティに富んだ主催事業の実施や、新たに県外や県内の宿泊施設などに広報活動を拡大したことが奏功し、目標を上回る入館者があったことは評価できる。一方、全体としては前年度より多くの方の利用があったものの、学習利用は前年度実績を下回ったので、要因について分析し、利用者向上に繋げて欲しい。
収支状況	燃料費、光熱水費等について、節約を図り経費を節減した。一方で広報の強化により、広告料や通信運搬費は実績額が増加したが、確実な利用者の増加につなげることができた。今後も効果的・効率的な予算執行に努めていきたい。	広報活動の強化に伴う費用の増加があったものの、燃料費や光熱水費、交通費など可能な限り経費節減を図り、メリハリをつけた執行となっている。施設の経年に伴い、修繕費の増加が見込まれるが、限られた予算を効果的・効率的に執行するよう努めて欲しい。
自主事業	今年度は、継続事業に加え、新たに科学館PR事業として、「カガクスキーのイベントキャラバン」を実施した。これにより、館の周知と集客につなげることができた。今後も効果的な実施に努めたい。	科学館PR事業や婚活事業など、利用者集客に繋がる事業の企画に努めている。今後も、利用者ニーズや流行の把握に努めて、魅力的な事業を展開することを期待する。
利用者満足度	施設全般の満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が、92.26%であった。意見を受けできる限り早急な改善に努めた。個別でこの合計が80%台であったレストランの味や駐車場の対応については、施設の安全管理上ガスが使用できず、また、立地上、駐車場確保がしにくい状況を有しているところであるが、満足度の向上に向け、試食会の開催や周辺の臨時駐車場確保に取り組むなど一層の改善を進める。	利用者満足度は、高い評価を得ており、利用者からの要望等にも迅速に対応されている。しかしながら、アンケートの回収率の低さが課題である。現状においても、回答者にティッシュを配付するなど、努力はされているものの、まだ改善が必要であるので、回収率向上のために工夫を凝らし、利用者の意見を今後の施設運営に活かしていくことを期待する。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>①入館者数 目標値 170,000人 実績値 170,969人 ②観覧者数(スペースシアター) 目標値 46,309人 実績値 54,524人 ③主催事業参加者 目標値 123,000人 実績値 208,498人 ④学習利用者数 目標値 16,660人 実績値 14,493人</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、概ね適正に執行されている。 ・昨年度、落ち込んだ入館者数も、今年度は大きく回復し、平成10年の開館以来、最高の入館者数となった。 ・今後も、入館者数の増加のため、広報先の新規開拓や魅力的な事業の展開など工夫を凝らした業務の執行を期待する。 ・開館20周年に向けて、展示物の見直しを検討する必要もある一方で、施設の経年に伴う修繕の増加も見込まれるので、展示・事業の充実と安全で快適な施設整備、それぞれの優先度等を考慮し、限られた予算の効果的な執行に努めて欲しい。
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、引き続き、適正に行っていく。 ・今後も、広報についてさらなる強化を図るとともに、創意工夫を凝らした魅力的な事業を展開し、入館者増を目指していく。 ・施設の経年に伴う修繕については、安全で快適な施設整備を第一に、優先度を考慮する中で、適切な執行に努めて行く。28年度は、新たに経営戦略プロジェクトを立ち上げ、満足度の向上、及び来館者数の増加に向けたアンケートによるニーズ調査を実施することとしている。この結果を参考に、展示物の見直しや新規事業の企画等を総合的に検討していく予定である。科学館としての使命役割が最大限に果たせるよう、鋭意取り組んでいく。

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

